

# BREAKING NEWS



## 4年ぶりに留学プログラムを行いました！

交換留学生8名は6/11(日)～25(日)の間、マレーシアのクチンにあるTunku Putra HELPにて、2週間の学校登校やホームステイを行いました。

1週間留学生7名と親子留学生2名は、6/18(日)～25(日)の間、マレーシアのカンパーにあるWestlake International Schoolにて、学校登校やフィールドトリップを行いました。

その後、7月には、交換留学でホストファミリーとなってくれたマレーシアの子どもたちがサマースクールにやってきて、ホームステイの受け入れを行いました。

Jr. Clubの留学プログラムは2019年以来4年ぶりとなりました。参加した生徒たちは、マレーシアで友達を作ったり、日本との違いに気づいたり、様々な学びを得たようです。この経験が生徒たちの英語を学ぶことへのモチベーションとなり、英語の大切さ、英語でコミュニケーションをとることの楽しさに気付くきっかけになったのではないかと思います。

次ページからプログラムの様子をぜひご覧ください。

### ★マレーシアの英語力とは★

多民族が暮らすマレーシアでは共通の言語として日常的に英語が使用されており、その英語力はアジア屈指と言われています。英語能力指数 (EF EPI) によると、アジア地域ランキングでマレーシアはシンガポール、フィリピンに次いで第3位となっています。

教育の国際化に対する意識は高く、全ての私立大学では英語で授業が行われ、富裕層は子どもたちを幼少期から英語を日常的に使用するインターナショナルスクール等に通わせています。チムニーズの協定校は、どちらもインターナショナルスクールです。

## P.2 交換留学 学校登校・ホームステイを体験



## P.3 交換留学 ホームステイを受け入れ



## P.4 1週間留学 学校登校・寮生活を体験

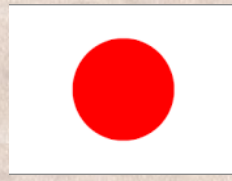


## P.4 親子留学 マレーシアの幼稚園を体験



# 交換留学

## ◆ 留学生活



福岡 → マレーシア



## リアルな学校生活を体験！

生徒たちは通常のクラスに入って、英語、中国語、マレー語、体育、音楽、算数、美術など様々な授業に参加しました。授業中に手を上げて発表したり、クラスメイトと助け合ったりしながら、どの授業も楽しみながら受けることができました。



ランチはもちろん学校の食堂で！仲良くなった友達と一緒に食べたり、売店で自分でスナックを買ったり、とても馴染んでいました。

放課後には部活にも参加し、たくさんの友達を作ることができました！水泳やサッカー、パソコン、ダンスなど、色々な部活に参加しました！



## ホストファミリーとの思い出は一生もの！

放課後や週末はホストファミリーとたくさんのことをしました！一緒にショッピングに行ったり、習い事のボクシングを体験したり、ビーチに行ったり…楽しい思い出がいっぱいできました！



ホストファミリーは本当の家族のように接してくれ、ジョークを言ったり、ふざけ合ったり、たくさんコミュニケーションをとることができました！



ホストファミリーはマレーシア料理をたくさん食べさせてくれました。初めて食べるマレーシア料理は辛いものもありましたが、美味しかったです！



## 様々なイベントにも参加！



豊作を祈るGawaiというお祭りには、浴衣や甚平などを着用して参加しました！日本の衣装を着た生徒たちは注目の的でした！伝統のダンスや楽器を体験する貴重な機会となりました。

マレーシアのPandanという葉っぱを使って、お花を作る特別レッスンもありました！花の形を作るのは難しかったですが、楽しかったです！



フィールドトリップではオラウタンに会えました！坂を上ったり下りたりして、ヘトヘトになりましたが、楽しかったです！



マレーシアの伝統衣装を着てナシレマというマレーシアの料理をみんなで作りしました！



## ◆ホームステイ受け入れ



マレーシア→福岡



## ホストフレンドが福岡にやってきた！

マレーシアでホストファミリーをしてくれた生徒5名が、チムニーズのサマースクールに参加するため、福岡にやってきました！

マレーシアに行った生徒たちは、自分のホストフレンドが福岡にやって来るのを今か今かと楽しみにしていました。



サマースクールでは、スポーツ、アート、文化交流など、毎日色々なアクティビティを行いました。マレーシアの生徒が使う英語が良い刺激となり、活発なコミュニケーションが生まれました。

## ホームステイの受け入れで深めた絆！



「お互いの家庭で過ごす」という貴重な経験をとおり、交換留学生たちの間には深い友情が生まれました。マレーシアの生徒たちは本当の家族のようになり、一緒に過ごした兄弟児にとっても、良い思い出になったようです。空港での見送りでは、涙なみだのお別れになり、「See you again! (また会おう)」という言葉が飛び交っていました。



## ◆参加者からの声

### 【生徒】

- \* たくさんの友達をつくって遊んだり話したりアクティビティをしたことが一番楽しかったです。ホストファミリーとはもっと一緒に過ごしたかったです。またマレーシアに行って皆に会いたい気持ちでいっぱいです。
- \* ホームステイでは、ワニを見たり、オラウータンを見たのがとても楽しかったです。学校で上靴を履き替えないことなど、日本との違いにびっくりしました。

### 【保護者】

- \* 帰国後の息子の最初の一言が「めっちゃくちゃ楽しかった！まだ一年くらいあっちで過ごしたい。いや、あっちで暮らしたい」でした。ホストファミリーの方も大変親切で今でもSNSで連絡を取り合っています。息子がとにかく楽しんで色々なことを吸収してくれたので、このプログラムに参加してよかったです。
- \* 本人の気持ちの中でもっと英語ができるようになりたいという気持ちが大きくなっているようです。
- \* マレーシアへ行く前は英語を理解していても、話すことを恥ずかしがり、話そうともしませんでした。帰国後、ホームステイ受け入れ中に、英語で積極的に会話するようになっていて変化を感じました。
- \* ホームステイ受け入れをして姉弟達も英語でコミュニケーションをとる楽しさが増したようです。

### 【スタッフ】

- \* 生徒たちは留学の最初、ホストファミリーや友達との会話で「えっと…」と少し戸惑う様子も見られましたが、日が経つに連れて、どんどん自然に会話ができるようになっていました。興味関心が似ている同じ年代の子ども同士だからこそ、コミュニケーションを楽しみ、絆を深めることができたのではないのでしょうか。今回できた友達とはこの先も関係を続け、進学先や将来について刺激しあえる仲になってほしいと思います。

# 1 週間留学

## ◆学校登校&寮生活

学校登校では、算数で日本との解き方に違いがあったり、理科で摩擦について紙飛行機を使って学んだり、日本とのたくさん違いが見つかり、「もっと通いたかった」という声が多くありました。

寮では宿題をする時間が決められていたり、スマートフォンの使用制限があったりしましたが、寮母さんが常に体調を気にかけてくれ、また他の国から来た生徒たちと仲良くなれました。生徒の中には「寮の時間が一番楽しかった」という生徒もいました。

友たちが言ったことが分からないときは、「Can you say it again?」と聞き返すなどして、会話の実践が多くできました。



ランチの時間は仲良くなった生徒たちのおしゃべりを楽しみました。食堂ではアイスがとくに美味しかったです！

## ◆フィールドトリップ

フィールドトリップでは、クアラルンプールのツインタワーや有名な洞窟に行ったり、美味しいものを食べたりして楽しみました。ロープウェイに乗ったり、一緒に行った仲間たちとお揃いのお土産を買ったのも良い思い出になったようです。



## ◆参加者からの声

### 【生徒】

- \*マレーシアでは、難しいと感じた言葉はノートにとってメモし、寮で調べました。友達とおしゃべりするのが楽しく、学校でもすぐに友達を作って、英語で積極的に会話することができました。もっと一人で色んなことに挑戦したかったです。
- \*クラスみんなが当たり前のように優しく、困っているとすぐに気づいてサポートしてくれることに感動しました。
- \*マレーシアで仲良くなった友達がとても発音が良く、自分ももっと発音を頑張りたいと思いました。

### 【保護者】

- \*マレーシアに行ったことで自信がついたようです。
- \*日本に帰って来てから、ことあるごとに「マレーシアは…」と色々なことを教えてくれます。他国への関心へとつながり、良い経験になったと思います。

### 【スタッフ】

- \*学校や寮では、自分たちで解決しなくてはいけないこともたくさんあったと思いますが、その経験も成長する機会となったようで、帰国後、子どもたちはたくましくなっているように感じました。
- \*初めて海外へ行く生徒も多く、マレーシアの入国審査でとても緊張している様子が見られましたが、帰国時には、店員さんにお勧めを聞いたり、外国人に話しかけられても冷静に対応するなど、子どもたちの成長を垣間見ることができました。帰国後は子どもたちの「英語で話したい」という意欲がさらに高まったように感じます。授業中、友達との会話でも、なんとか英語で伝えようとする姿が多く見られたり、先生たちが話したフレーズを口ずさんだりしている姿を見ることが多くなりました。今後のさらなる成長が楽しみです。

# 親子留学

生徒たちは、マレーシアの幼稚園を体験しました。滞在はサービスアパートメントで、プールやレストランもあり、楽しい時間を過ごすことができました。留学に参加した園児は、英語を使ってコミュニケーションをとれたことで、自信に繋がったようです。また、保護者の方からは「現地の日本人の方と話して、海外移住について学ぶ良い機会となった」という声もありました。フィールドトリップにも参加し、マレーシアで色々な学びを得ることができました。

